

平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	小笠原諸島の調査に要する経費		担当部局庁	国土政策局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和55年度		担当課室	特別地域振興官		特別地域振興官 安栖 宏隆		
会計区分	一般会計		施策名	42 離島等の振興を図る				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、 通知等	小笠原諸島振興開発基本方針 小笠原諸島振興開発計画				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	東京都又は小笠原村が、観光・産業振興のための施策を自らの創意工夫により立案するに当たり、その実現性・実効性を含め他地域の地域振興の成果と課題をより専門的見地から収集、分析を行い、東京都・小笠原村がより効率的・効果的に具体的施策を立案できるよう、間接的な支援を行う。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	小笠原諸島振興開発の基本となる方向性を検討するための調査を国が実施。 (H22年度) ①小笠原の世界自然遺産の管理の担い手等のあり方に関する調査 ②小笠原における害虫対策調査 ③小笠原における情報通信基盤の遠隔医療等における利活用に関する調査							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	0	0	0			
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	37	35	29	21		
	執行額	30	33	27				
	執行率(%)	81.3%	94.1%	94.6%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	小笠原村の総人口		成果実績	人	2,387	2,417	2,397	2,500
			達成度	%	95%	97%	96%	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	-		活動実績		3	3	3	-
			(当初見込み)					(2)
単位当たり コスト	8,996千円(22年度実績額/22年度件数)		算出根拠					
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	小笠原諸島振興開発調査経費	21	15					
	(内訳) 諸謝金	0	0					
	(内訳) 職員旅費	0	1					
	(内訳) 委員等旅費	0	1					
	(内訳) 離島振興調査費	21	14					
	計	21	15					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		<ul style="list-style-type: none"> ・本経費は、国において調査検討するにあたって必要となる経費である。 ・発注先の選定にあたっては、透明性及び公平性の確保を図る観点から、企画競争の手続きを経た上で、発注先を特定し、請負契約を締結したところ。 ・業務の実施にあたっては、仕様書に「緊密な連携をとって進めるものとする」と記載あるとおり、適切な指示を行うなど、国が求める調査内容となっているか、方策とりまともに向け調査内容に過不足はないかなどを確認している。 ・調査終了後、完了検査を通じて、発注先より提出のある成果物(報告書)の内容が、国の求める調査事項を網羅しているか、国が指示した報告書の整理方法となっているかなど確認を行っている。 ・調査過程より、国土交通省と、関係団体との間で問題意識を共有するとともに、連携・協力して進めており、調査結果を受けて、調査後小笠原村等が自立的に事業を推進し実行段階にすすむようになっている。 ・なお、行政事業ビューの予算監視・効率化チームの所見をいただいた時には、既に契約手続が終了しており(企画競争にて選定)、今後、所見を踏まえ、より競争性・透明性の高い方式の検討をすることとしたい。 	
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善 ① ② ⑤		<p>小笠原における主要産業である観光業等にフィードバックされているが、引き続き、世界遺産指定を踏まえるなど、国として小笠原諸島固有の地域ポテンシャルを引き出す効果の高い調査に重点化を図る。</p> <p>定型的な業務については、調査の質を確保しつつ、より競争性の高い契約方式を導入することにより、より少ない予算で十分な政策効果を得るよう見直す。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
世界自然遺産登録後の社会経済環境の実態を踏まえた今後の支援方策についての調査に重点化し、事業費の縮減を図った。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

国土交通省
28百万円

業務の実施にあたり、各支出
先の指示・監督

A 都市・地域整備局
27百万

企画競

B (株)アール・ピー・アイ
7百万

環境教育プログラムを通じた
世界自然遺産管理の担い手等
のあり方に関する調査

企画競

C (株)言野白蟻研究所
11百万

集落内での小笠原村のシロアリ
対策の評価・分析、集落内
での駆除の検証、周辺の山林
における新たなシロアリ対策
の方策の調査

企画競

D (株)エヌ・ティ・ティ・デー
タ経営研究所
9百万円

小笠原における医療供給体制
や住民ニーズ、医療課題につ
いての現状分析、小笠原に遠
隔医療を導入する際の先行事
例を調査、遠隔医療導入の方
向性についての調査

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位:百万円)

A.都市・地域整備局			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
請負	世界自然の管理の担い手等のあり方に関する調査の実施等	27			
その他	職員旅費	1			
計		28	計		0
B.(株)アール・ピー・アイ			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
請負	世界自然の管理の担い手等のあり方に関する調査	7			
計		7	計		0
C.(株)吉野白蟻研究所			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
請負	小笠原諸島における害虫対策調査	11			
計		11	計		0
D.(株)エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
請負	小笠原における情報通信基盤の遠隔医療等における利活用に関する調査	9			
計		9	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)吉野白蟻研究所	小笠原諸島における害虫対策調査	11	1	—
2	(株)エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所	小笠原における情報通信基盤の遠隔医療等における利活用に関する調査	9	4	—
3	(株)アール・ピー・アイ	世界自然の管理の担い手等のあり方に関する調査	7	3	—
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					